

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和8年7月1日現在）

法人名	神奈川県道路公社				
設立年月日	昭和46年10月30日		代表者名	理事長 佐川 範久	
所在地	横浜市中区山下町 1 番地		電話番号	045-479-7755	
基本財産等	10,781,000,000 円	県出資額	10,781,000,000 円	県出資率	100.0 %

2 法人運営における現状の課題（法人）

- ① 計画的な道路施設等の維持修繕への対応
高度経済成長期に整備された道路施設の老朽化が全国的な課題となり、トンネルや道路橋等の5年に1度の法定点検が義務化されている。これにより当初想定していなかった新たな費用負担が生じている。
そのため、点検結果を基に、早期に予防的にメンテナンスを行うことで、トータルコストの低減を図る「予防保全型」の維持管理に事実に取り組む必要がある。
- ② ワンストップ型ETCの順次導入
令和8年3月に真鶴道路の運用開始により、公社管理道路へのワンストップ型ETC（名称ETCGO）の導入が完了した。今後はこのシステムの利便性の向上とともに、適切な維持管理に取り組む。
- ③ 経営基盤の強化
少子高齢化等による道路交通量の減少や不安定な国際情勢を受けた物価や人件費の高騰、それに伴う管理コストの増加などが懸念される中、自然災害などの不足の事態にも柔軟に対応できる経営基盤の強化を図る。

3 法人の県主導第三セクターとしての検証（所管課）

(1) 公益性について

県内幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図ることで、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与するなど、公益性の高い事業を実施している。

(2) 県行政との関連性について

地方道路公社法に基づき、県が設立し、また唯一の出資者でもあることから、今後も県が関与していく必要がある。

(3) 民間代替性について

公社が管理している、道路整備特別措置法に基づき整備された道路は、民間が管理することはできず、代替性は無い。

4 経営改善目標の達成に向けた取組実績等（法人）

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和 年度	７年度自己評価
1	安全・安心を確保する計画的な維持修繕工事の実施	百万円	837 (573)	465 (801)	695 (822)	(774)	()	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	一部繰越等はあったものの、概ね、計画通りの工事が実施できた。				令和７年度に改定した維持管理計画に基づき、予防保全型維持管理の観点から、着実な工事の実施に努める。			
	備考							

No.	項目	単位	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和 年度	７年度自己評価
2	「ＥＴＣＧＯ」の順次導入	百万円	27 (420)	422 (138)	342 (138)	(138)	()	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	管理３路線への導入については、電設資材の調達難の影響等により、全体の導入計画を見直し、令和６年度に三浦縦貫道路及び逗葉新道へ、令和７年度に真鶴道路へ本格導入を完了し、目標を達成した。				導入したシステムの利便性の向上と適切な維持管理に努める。			
	備考 ・公社管理駐車場の一箇所に、既存ＥＴＣ機器を活用し、令和６年度に運用を開始した。 ・「ワンストップ型ＥＴＣ」は、令和５年度に「ＥＴＣＧＯ」に変更した							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和 年度	7年度自己評価
1	有料道路通行料金収入	百万円	1,656 (1,631)	1,666 (1,629)	1,688 (1,622)	(1,616)	()	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	真鶴道路と逗葉新道の利用が漸減傾向となる中、三浦縦貫道路の利用台数と料金収入は着実に伸びており、3路線全体として目標の達成ができた。				地域と連携した利用促進事業を強化し、目標の達成に努める。			
	備考							

No.	項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和 年度	7年度自己評価
2	駐車場料金収入	百万円	331 (292)	333 (296)	333 (296)	(296)	()	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	土地使用料の減免の廃止や使用料の上昇、民間との競合やインバウンドの動向などにより、事業環境が厳しくなる駐車場もある中、料金値上げの効果等もあり、全体として目標達成ができた。				ホームページや地域のイベントへの参加等を通じてPRや利用促進に努める。			
	備考							

No.	項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和 年度	7年度自己評価
3	年度末資金残額	百万円	987 (824)	※1,390 (867)	※1,556 (878)	(901)	()	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	着実に利用が伸びている三浦縦貫道路を中心に、各事業で目標を上回る収入があったことに加え、効率的な事業運営に努めたことにより、目標を大きく上回る年度末資金が確保できている。 ※繰越し工事等444百万円を除く。				効率的な事業運営と地域と連携した利用促進を図り、万一の災害や事故による復旧等にも柔軟に対応できる資金管理に努める。			
	備考							

5 財務状況（法人）

（単位：千円、％）

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率 (前年度比)	備考
貸借対照表	資産	24,437,006	24,806,151	25,116,737	1.3	
	流動資産	1,950,585	2,337,272	2,628,761	12.5	
	固定資産	22,486,421	22,468,879	22,487,976	0.1	
	負債	8,803,147	9,133,481	9,328,681	2.1	
	流動負債	534,091	538,800	628,731	16.7	
	固定負債	197,319	180,379	154,664	△ 14.3	
	特別法上の引当金等	8,071,737	8,414,302	8,545,286	1.6	
	資本	15,633,859	15,672,669	15,788,055	0.7	
	基本金	10,781,000	10,781,000	10,781,000	0.0	
	剰余金	4,852,859	4,891,669	5,007,055	2.4	

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率 (前年度比)	備考
損益計算書	収益の部	2,217,978	2,441,506	2,606,082	6.7	
	経常収益	2,217,978	2,441,506	2,585,035	5.9	
	業務収入	2,013,953	2,025,187	2,047,936	1.1	
	受託業務収入	69,404	78,667	92,683	17.8	
	助成金受入	0	275,308	279,059	1.4	
	業務外収入	134,621	62,344	165,358	165.2	消費税還付の増
	特別利益	0	0	21,047		過年度損益修正益
	費用の部	2,308,585	2,402,695	2,490,696	3.7	
	経常費用	2,308,585	2,378,798	2,490,425	4.7	
	管理業務費	1,616,822	1,393,906	1,610,089	15.5	
	うち人件費	123,079	112,445	111,553	△ 0.8	
	一般管理費	174,226	170,985	172,507	0.9	
	うち人件費	56,818	54,640	61,515	12.6	
	諸減価償却費	361,715	368,791	241,419	△ 34.5	
	諸引当損	86,410	91,028	94,667	4.0	
	受託業務費	69,404	78,667	92,683	17.8	
	業務外費用	8	275,422	279,059	1.3	固定資産圧縮損の増
	特別損失	0	23,898	272	△ 98.9	過年度損益修正損

(単位:千円、%)

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率 (前年度比)	備考
県の財政的支援※	補助金					
	交付金					
	負担金					
	貸付金					
	利子補給					
	合計					
	県の財政的支援の割合 (合計/経常収益)					

※第三セクター等の指導、調整等に関する要綱に基づく支援区分

区分			令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率 (前年度比)	備考
参考	①	委託料(指定管理料含む)	69,404	78,667	80,235	2.0	真鶴道路大規模修繕事業57,141(道路管理課) 道路パトロール業務 23,094(横須賀土木事務所)
		合計(県の財政的支援+委託料)	69,404	78,667	80,235	2.0	
		県の財政的関与の割合 (合計(県の財政的支援+委託料)/経常収益)	3.1	3.2	3.1	△ 3.7	
	②	債務保証(残高)					
		損失補償(残高)					

指標	計算式	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率 (前年度比)	備考
自己資本比率	資本/(負債+資本)	64.0	63.2	62.9	△ 0.5	
流動比率	流動資産/流動負債	365.2	433.8	418.1	△ 3.6	
人件費比率	人件費/経常費用	7.8	7.0	6.9	△ 1.1	
管理費比率	一般管理費/経常費用	7.5	7.2	6.9	△ 3.6	

6 取組実績等についての総括（法人）

令和7年度決算では、収入面では有料道路通行料金が予算比104.1%、駐車場料金が101.0%となり、いずれも目標を上回った。支出面では、一部繰越等はあったものの、概ね、計画通りの工事が実施できた。また、令和6年度に三浦縦貫道路と逗葉新道で本格運用を開始した「ETCGO」の実績を踏まえ、令和8年3月から真鶴道路でも運用を開始した。年度末資金残高については、これまでの効率的な事業運営により、令和7年度末の資金残高も目標を上回る結果となった。

7 取組実績等についての総括（所管課）

有料道路通行料収入等について目標を達成しており、年度末資金残額についても計画を上回る状況となっている。また、安全・安心を確保するための維持修繕工事についても、計画的に取り組まれている。
今後も引き続き、効率的な事業運営を進めるとともに、計画的に維持修繕工事を行うことで、利用者サービス及び安全・安心の向上を推進していただきたい。